

移動移乗介助研修

令和5年7月16日(日)

会場：特別養護老人ホーム菜の花

令和5年7月16日(日) 10時~16時

参加費：無料

講師：田中義行氏(たなか よしゆき) 理学療法士

あなたの腰痛を防ぎ利用者の安全を守る 移動・移乗介助 介護技術基礎講座 対面研修で開催！



菜の花

特養版

令和5年 8月号  
社会福祉法人聖啓会  
特別養護老人ホーム菜の花

一部直接面会(再開しています)

一部(キーパーソンの方)直接面会を再開しています。



スナップ写真

七夕飾りに短冊を飾りました

願い事には家族の健康や、長生き、美味しいものへのお願いが書かれていました。

7月14日 華道倶楽部

清流館高校実習生さんと仲良くなりました。話していると、ひ孫がいるようで楽しいわ

行事予定:(変更する場合もあります)  
毎週金曜日 華道倶楽部  
第2・第4火曜日 健康倶楽部  
第2・第4水曜日 書道倶楽部  
第1水曜日 絵手紙倶楽部

菜の花だより・お知らせ・公開資料は、  
ホームページからご覧いただけます。  
発行：社会福祉法人聖啓会  
特別養護老人ホーム菜の花  
電話：054-646-1087  
http://seiKeikai.info/ 編集：中村



背景の絵は、川合玉堂の「多藝都速瀬」「清端釣魚」  
です。河原崎聖堂(清一)作「朝顔」  
著作権の保護期間を過ぎ、誰でも自由に利用できる  
ようになったものです。

令和五年五月以降、5類に変更にも関わらず、コロナ禍で世情が落ち着かない状態が日々続いており、医療福祉施設での面会も手探り状態で、対面での面会がようやく解除になったところですが、そのような中、安全な研修の実施に向け試行錯誤しながら、去る令和五年七月十六日(日)、菜の花において「移動移乗介助の研修」を開催いたしました。

全国各地で講演、研修を行っている田中義行先生をお招きし、静岡県老人福祉施設協議会との共同研修として、他施設の職員も参加しました。

田中義行先生は、全国の研修会、講演会などで障がい者の身体構造・生理に合わせたわかりやすい介護技術、拘縮を防ぐ介護技術などを伝える活動をしていらっしゃる。著書に「マンガでわかる拘縮を予防・改善する介護技術」(中央法規)他多数。現在は介護専門職のための専門誌「おはようこ」でも連載をされています。

今回の研修では、午前中は座学を行い移動移乗介助の基礎講座を学びました。腰痛を予防するには、普段の生活でも注意するポイントがあり、長時間前屈姿勢になっていないかの確認が必要であることや、食事介助の時や移乗介助時のポイントを教えていただきました。



教育委員長 堀田 隆弘

コロナ感染

施設長 川口節子

△八月四日、県は「感染拡大警報」を発令しました。今後二日に感染者が二千人以上になると、推測されています。五類移行後、四割が十代以下の感染とされています。現在菜の花での感染者はいませんが、高齢者は感染し易いので感染予防は続行しています。

●六回目コロナワクチン予防接種  
申し込みされても嘱託医の安全を鑑みた診断で接種できない方もいる。  
接種された方は副反応の恐れがある為ご家族連絡簿にご家族連絡のない方は接種見合わせ。  
接種は八月三日(木)八月十日(木)の午前中実施。

●面会  
キーパーソンカード持参の方は対面面会を続行中  
面会時のご家族の体調確認要。(職員、家族からの感染に注意)  
近隣施設の中で既に感染者発生し直接面会中止している。

7月5日 絵手紙倶楽部

絵葉書に季節の野菜を描き、短冊に見立てて笹に飾りました。涼やかです。



7月12日 書道倶楽部

今月のお題は、爽やかな風が吹いてきそうな夏らしい素敵なお題です。



清流館高校実習生さんが「実習ありがとうございました」と「エンジョイ！アイスレクリエーション」を行ってくれました。入居者様からは、「仲良くなったよ、寂しいねえ、また会いたいね、元気で頑張ってね」との声が聞かれました。



学生さんから実習のお礼状をいただきました。(こちらこそありがとう！) 以下はお礼状からの抜粋です。

- 入居者の方の歩行訓練の際に、すれ違う職員のみなさんが「気をつけて」「頑張って」と声掛けしているところを見て、何気ない声かけが、安心感ややる気につながると学びました。
- 事前に説明をしたり、声掛けをしたり手を握る姿を見て、利用者さんの様子を観察して早く変化に気づき安心感を持っていただくことが大切だと感じました。
- 一回一回の介護動作の際、利用者の方と会話をしながら行っているのを見て、信頼関係を構築するための丁寧なコミュニケーションが大切だと考えました。
- 多職種連携して情報を共有して、どの職員でも利用者の方に

合った、統一したケアを提供することが大切だと感じました。  
 ・今回の実習で学んだことを活かし、国家試験に向けて日々の勉強に励んでいきたいと思えます。



烏帽子ユニット特集

しつもん！あなたは誰と、何処へ行きたいですか？



岸端毅 甥っ子と山城巡り。まずは高天神城！

朝倉江理子:孫と一緒に ティスニーランドへ行きたい♡

梶山ヒサ子 孫とUSJに行きたい。

烏帽子ユニットはどんなところですか？個性溢れる元気な入居者様と、癖のある(?) 愉快的なスタッフが力を合わせ寄り添いながら大切な日々を彩っています。



向井愛 娘と息子と 沖縄行きたいなー♡宮古島♡

神奴豊子 家族とハワイに行きた〜い

チャンクエン 富士山に行きたい！



烏帽子のサンルームはとっても良い眺めです。

Healing

意味くほっとする・心と身体の健康を回復・大宇宙に充滿する命

8月のHealingは、♡「ふれあい」と♡「手当て」です。

ウイルスの為に「ふれあい」の機会がなくなり、やっと直接面会が始まりました。ご家族様が面会時「やっと手がさわられた」と、お母様のお顔を見た瞬間に手を握られていらっしやいました。素敵な感激の瞬間を共有させて頂きました。又、4年振りのご夫婦の記念写真、姉妹で、親子で、と「ふれあい」の嬉しい時間を過ごされました。

♡「ふれあい」♡とは、人と人が直接ふれあう生身のコミュニケーションで、お互いに心と心が通じ合い親しみ交わる。手と手の感触は何と言えれば良いのでしょうか。時には👍「手当て」👍となり人の心の傷を癒してくれる。慰める時に背中にそっと手を当てる正しく「手当て」。握手、手で肩を揉む、心臓マッサージ、医師・救急救命士の命を守る手。手を握りエールを送るなど手の力は無限です。因みに、手術とは…手の術と書きます。

平成28年11月号の防災訓練のフィーリングに掲載した「手の力」を再掲します。「手の力」の素晴らしさをある看護師の手記を通してご紹介します。【残り数日の命を自覚しながら患者の医師は看護師が触れる事はプライドが許さない為じっと仰向けに寝ていた。背中が褥瘡が気になり「一回で良いから背中を見せて下さい」と背中に手を入れたところ「あぁなんと心地良いのだろう貴女の手は観音様のような看護の手がこんなに心地良いとは・・・」と今まで科学と付き合ってきたが初めて知ったようで亡くなる瞬間に看護の手の力を感じて頂き看護師としての使命の尊さを実感した。皆様も手の力で救われた思い出は沢山あると思います温かい手の力に感謝です】

♡菜の花でも手の力を最大限に生かして、ふれあい、LOVEピース。素敵でしょう。

